

新年のごあいさつ ～ 2020年を迎えるにあたり～



代表取締役社長
五十嵐 信夫

新年あけましておめでとうございます。昨年中は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、JAバンクを取り巻く環境は、人口減少・高齢化や、マイナス金利の長期化等により厳しい局面が続いていることに加え、ITによる金融サービスの変容や、組合員・利用者ニーズの多様化等、環境変化の度合いは、急激かつ不連続なものとなっております。

このような環境下、持続可能な事業運営態勢への変革や、組合員や地域の信頼を得つつ、JAバンク中期戦略の着実な実践を支える人材の育成への期待が、かつてないほどに高まっている、と強く感じているところです。

この認識のもと、系統人材開発施策につきましては、中期戦略の実践事項の着実な実践に向けて、「変革リーダーの育成・実行力強化」、「知識習得・専門性向上」、「行動・管理の徹底」を基本としております。

弊社がご提供する各メニューにつきましても、中期戦略の2020年度施策を踏まえ、各地域戦略の実践に資する人材の育成を図ることを念頭に取組み取り組むこととしておりますが、その中から3点につきご紹介させていただきます。

第一に、地域・JAの戦略を策定・実践するキー

マンとなる変革リーダー向け経営層研修につきましては、ブロック・シンポジウムの受講者も含め、延べ5,000名を超える受講をいただいております。変革を実践するための基盤を着実に広げているとともに、実行力強化に向けたフォローアップ施策の充実や、変革を継続していくための次世代リーダーの育成に取り組んでまいります。昨年度新設の次期リーダーコースは、定員を上回る応募をいただき、地域・JAにおける期待・ニーズの高さを感じており、弊社としても一層注力してまいります。

第二に、知識修得・専門性向上につきましては、貸出強化やライフプランサポート実践に向けた研修等の新設・見直し、マネロンや中期戦略の実現に向けた地域研修(標準プログラム研修)の新設、ロープレ等を盛り込んだ実践型研修の拡大、投信コンプライアンス等の通信研修の新設等、中期戦略の実践加速や地域ニーズを踏まえた人材育成メニューの充実を進めてまいります。

第三に、地域の人材開発ニーズを踏まえた、具体的なお提案など、地域の皆様へのサポートにより一層注力してまいります。

これら地域・JAの人材育成への機能発揮を通じて、JAバンクの発展に少しでもお役に立てるよう、弊社一丸となって努力してまいります。本年もご愛顧の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



新しく
なった

標準プログラム研修のご紹介

JA
職員向け

預かり資産関連啓発研修(知識習得編)

「人生100年時代」というフレーズが盛んに取り沙汰され、老後の暮らし方に人々の注目が集まる中、自分たちとお客さまの将来を考える研修がJAバンク富山で行われました。

2019年11月13日、富山県農協会館で、JAバンク富山アカデミー主催の「預かり資産関連啓発研修(知識習得編)」が、県内JAの管理者・渉外担当者を対象に実施されました。

研修のゴールは「資産形成・資産運用が誰にでも必要な環境にあることや、投資信託の基本的な仕組みやリスクコントロールの考え方を理解し、説明できること」。このゴールを達成するためには、渉外担当者がまず「現役世代の資産形成、年金世代の資産運用の重要性」を“自分事”として認識し、しっかり“腹落ち”させなければなりません。

そこで研修では、これからの人生100年時代になぜ資産運用が重要なのか、基礎の基礎からじっくり学んでいきました。たとえば住宅購入・子育てなどライフイベントにかかるお金についてや、年金を支える現役世代が減っていくため公的年金だ



けでは将来が不安であること、世界経済は今後とも成長が期待できるため、NISAやiDeCoを使えば“お金の寿命”も延ばせるといったことについて、自由な雰囲気のもとで活発な質疑応答が行われました。多くの受講者にとって、自らの仕事の意義を再確認する時間になったようです。

受講者の
声



JAいなば 金融共済部 貯金為替課
課長 山室 亜紀さん

「人生100年時代」を安心して暮らしていくには、ゴールを見据えた資産形成が必要になるということに改めて気づきました。「今リスクを取らないことが、将来のリスクになる。」などの話はとてもふに落ちました。

お客さまのライフプランを的確にサポートできるよう、体制づくりから取り組んでいきたいです。

講師から
の
Message

株式会社 経済法令研究会
清水 暁 専任講師



本研修のポイントは、資産形成と資産運用の必要性を、受講者自身がしっかり腹落ちして理解できるかどうかにあります。情報が自分にとって有益だと思えることができれば、「この情報をお客さまに伝えたい。」という使命感が生まれるはず。その思いは必ずお客さまに通じます。この研修で学んだことを各支店に持ち帰って、ぜひ皆さんと共有してください。

研修企画担当者から

お客さまの資産に関する相談に対応できる、金融ビジネスの広範な知識を身につけてほしい



農林中央金庫
富山支店 推進企画班
嶋 智次長

本研修では、県内JAの本店・支店の管理者・渉外担当者を対象に、お客さまの資産形成・資産運用に関して的確なご提案とアドバイスができるよう、金融ビジネスに関する広範な知識を習得していただくために企画しました。富山県は堅実な県民性で知られていますが、金融商品に関心がある方も一定数存在しており、投資型金融商品の潜在ニーズの掘り起こしにも期待が持てます。受講者の皆さんには、今回の研修を通して「自らの提案は自分にも組合員にも真に有意義である。」と自覚し、組合員の皆さんのライフプラン・サポートの一助にさせていただければと考えています。